

告知物

B2ポスター

第11回 食育推進全国大会
in ふくしま

チャレンジふくしま! おいしくたのしく健康長寿
～復興のあゆみ、全国のみなざまへ健康の気持を込めて～

入場無料

とき
6/11 10:30～17:00
6/12 10:00～16:30

ところ
ビッグバレットふくしま
福島県郡山駅前2丁目52

楽しみ!遊ぶ!

- キッズスタンプ (ふくしま産物スタンプ)
- キッズコンテスト (食育ポスターコンテスト)
- スタンプラリー (スタンプラリー)
- スタンプラリー (スタンプラリー)

学ぶ!体験!

- 約120団体による展示、PR
- 食育推進委員会
- ワークショップ

大会関連イベント

6/11日

開会式 11:00～12:00
シンポジウム 13:00～17:00
シンポジウム 18:00～17:00

6/12日

開会式 10:00～11:30
シンポジウム 12:00～13:00

大会関連イベント

6/12日

シンポジウム 13:00～14:30
シンポジウム 15:00～16:30
シンポジウム 17:00～18:00

ワークショップ

10:00～11:00
11:30～12:30
13:00～14:00
14:30～15:30
16:00～17:00

入場無料

主催 農林水産省、福島県、第11回食育推進全国大会福島実行委員会

お問い合わせ 第11回食育推進全国大会事務局 024-521-3550 024-521-8390

A4チラシ

第11回 食育推進全国大会
in ふくしま

チャレンジふくしま! おいしくたのしく健康長寿
～復興のあゆみ、全国のみなざまへ健康の気持を込めて～

入場無料

とき
6/11 10:30～17:00
6/12 10:00～16:30

ところ
ビッグバレットふくしま
福島県郡山駅前2丁目52

楽しみ!遊ぶ!

- キッズスタンプ (ふくしま産物スタンプ)
- キッズコンテスト (食育ポスターコンテスト)
- スタンプラリー (スタンプラリー)
- スタンプラリー (スタンプラリー)

学ぶ!体験!

- 約120団体による展示、PR
- 食育推進委員会
- ワークショップ

大会関連イベント

6/11日

開会式 11:00～12:00
シンポジウム 13:00～17:00
シンポジウム 18:00～17:00

6/12日

開会式 10:00～11:30
シンポジウム 12:00～13:00

大会関連イベント

6/12日

シンポジウム 13:00～14:30
シンポジウム 15:00～16:30
シンポジウム 17:00～18:00

ワークショップ

10:00～11:00
11:30～12:30
13:00～14:00
14:30～15:30
16:00～17:00

入場無料

主催 農林水産省、福島県、第11回食育推進全国大会福島実行委員会

お問い合わせ 第11回食育推進全国大会事務局 024-521-3550 024-521-8390

第11回食育推進全国大会inふくしま
プログラムのご案内
http://www.godokun.com

6/11日 10:30～17:00

1 開会式 11:00～12:00
2 シンポジウム 13:00～17:00
3 シンポジウム 18:00～17:00

6/12日 10:00～16:30

4 開会式 10:00～11:30
5 シンポジウム 12:00～13:00
6 シンポジウム 13:00～14:30
7 シンポジウム 15:00～16:30
8 シンポジウム 17:00～18:00

ワークショップ

10:00～11:00
11:30～12:30
13:00～14:00
14:30～15:30
16:00～17:00

FAX 申込書

024-521-8390

氏名 _____ 性別 _____ 年齢 _____

〒 _____ 市町村 _____ 番地 _____

TEL _____ FAX _____

申込書 2 _____ FAX 2 _____

申込書 3 _____ FAX 3 _____

当日配布物

当日配布パンフレット



案内サイン

会場入口サイン



屋内全体サイン



屋外全体サイン



誘導サイン

会場内誘導サイン



会場内誘導サイン



会場内誘導サイン



駐車場誘導サイン



駐車場誘導サイン



会場外サイン



実施概要

■シャトルバスルート①

【JR郡山駅⇄ビッグパレットふくしま】

往路: 運行時間

【11日・12日】 始発/7:45 最終/19:00

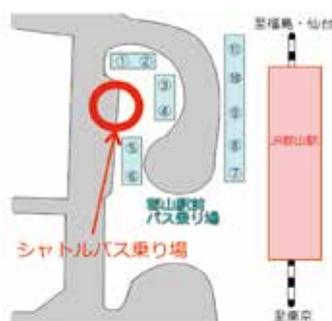
復路: 運行時間

【11日・12日】 始発/7:45 最終/19:00

運行間隔: 約15分ごとの運行

料金: 無料、輸送人数: 30人(想定)

■JR郡山駅 停留所



■シャトルバスルート②

【郡山カルチャーパーク⇄ビッグパレットふくしま】

往路: 運行時間

【11日・12日】 始発/7:45 最終/19:00

復路: 運行時間

【11日・12日】 始発/7:45 最終/19:00

運行間隔: 約15分ごとの運行

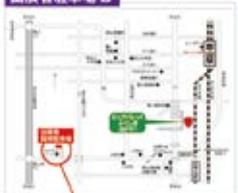
料金: 無料、輸送人数: 30人(想定)

■郡山カルチャーパーク 停留所

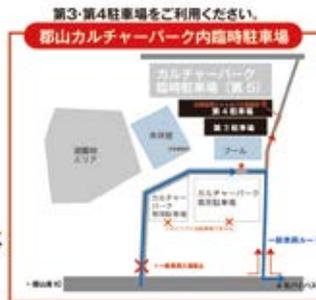
郡山カルチャーパーク内臨時駐車場

※台数制限無し
※朝夕、シャトルバス送迎いたします。
(駐車許可証不要)

出展者駐車場



東北道 郡山南ICから約3分



広報・報道(福島県)

●新聞記事等

郡山で食育全国大会

北海道・東北地区初来年6月

内閣府は三日、平成二十八年度に予定されている第十一回食育推進全国大会の開催県を本県に決定したと発表した。北海道・東北地区での開催は初めて。主催する内閣府と県によると、開催日は二十八日、郡山市のビッグパレットふくしまが会場となる。毎年六月の「食育月間」に合わせて開催されている同大会には、全国各地

復興に向けて歩む県民の姿を発信する好機と捉え、食の安全・安心や食育に関するシンポジウム、伝統食の試食などを企画する。県健康増進課は「国や市町村と連携し、本県の正確な情報を県外に発信したい」としている。

■福島民報新聞 平成27年2月4日号

3テーマ展示

郡山で6月食育全国大会



食育推進全国大会をPRするポスター

郡山市のビッグパレットふくしまで六月十一、十二の両日に開催される食育推進全国大会「11ふくしまは三つ」のテーマで県内の展示コーナーを設ける。二五団体が出展し、子どもたちの食育推進などの取り組みを紹介する。「豊かな心」では県学校給食研究会栄養士部会など十二団体が福島県食文化や農林水産物などをPRする。「強く生きる力」では食の安全・安心推進会議など八団体が食品の安全確保などの取り組みを解説する。屋外飲食コーナーでは、団体・事業者が農作物や日本酒など福島県の魅力を発信する。説明会では完成した大会のポスターも配布された。

■福島民報新聞 平成28年4月28日号

食育推進全国大会実行委

県内の食文化発信

12日

郡山市をメイン会場に六月十一、十二の両日開催される食育推進全国大会の実行委員会が県内の食文化を発信するバスツアーの参加者を募集している。十二日に県内を巡る四コースを設ける。いづれのコースも郡山市のJR郡山駅西口を出発する。参加費は二千円。問い合わせは実行委員会 電話024(522)2550へ。

■福島民報新聞 平成28年5月25日号

6月に郡山開催の食育全国大会

バスツアーで食文化紹介

六月に郡山市で開催される第十一回食育推進全国大会の期間中、県内各地の食文化を発信するバスツアーを実施する。県外からの来場者にも県産農産物の安全性を伝え、風評払拭を図る。県外からの来場者にも県産農産物の安全性を伝え、風評払拭を図る。



六月に郡山市で開催される第十一回食育推進全国大会の期間中、県内各地の食文化を発信するバスツアーを実施する。県外からの来場者にも県産農産物の安全性を伝え、風評払拭を図る。

■福島民報新聞 平成28年2月13日号

二の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで開かれる。県、県実行委、農林水産省の主催で、東北地方では初めての開催となる。

ロゴマーク制作

ロゴマークは大会の啓発グッズなどに活用する。

会をPRするロゴマークを制作した。桃やトマト、アスパラガス、日本酒など県内の特産品がデザインされている。

広報・報道(福島県)

●新聞記事等



生産者のコーナーを視察する森山農相 (11日、福島県郡山市で)

風評払拭へPR

A-3 食育推進「福島」の現状知って」 全国大会

「食育月間」に合わせ、農水省と福島県などは11日、食育推進全国大会を福島県郡山市で開いた。「チャレンジふくしまーおいしくたのしく健康長寿」をテーマに、東

日本大震災の復興に励む生産者の姿や、県産農産物の安全・安心を全国に発信し、風評被害の払拭(あつしよ)を後押しする。東北で開くのは初めてで、12日まで。

食に関する理解を深めるのが狙いで、今年で11回目。県内外の食育に関わる130団体・企業が出展、2日間で約3万人の来場を見込む。会場には福島県の農産物や郷土料理を紹介するコーナーの他、放射性物質検査について説明するコーナーもあり、親子連れや飲食店関係者らの関心を集めた。県は「多くの人に福島の現状を正しく知ってほしい」(食品生活衛生課)とPRした。

森山裕農相も駆け付け「風評被害の払拭には正確で分かりやすい情報発信が不可欠。政府一丸となつて取り組む」とあいさつ。県の生産者が出展するコーナーも視察し

た。JA福島さくらとJA夢みなみのコーナーでは「米の売れ行きはいかがですか」と声を掛け、放射性物質検査の話や聞くと「世界一安全な米です」と話した。12日には、福島大学の 大瀬健嗣特任准教授による「放射線の基礎知識と食品中の放射能」に関する講演などがある。

■日本農業新聞 平成28年6月12日号

広報・報道(福島県)

●新聞記事等

食育全国大会 in ふくしま 県産食材ずらり



郡山市のヒンパレットふくしまで十一日に開幕した「第十一回食育推進全国大会」は、多彩な出展やステージイベントが盛り込まれ、好評を博している。

郡山市のヒンパレットふくしまで十一日に開幕した「第十一回食育推進全国大会」は、多彩な出展やステージイベントが盛り込まれ、好評を博している。

県内の食の魅力発信は、いわき市で「フランクフルト」をテーマにした。十二日午前十時半からフランクフルト市から「フランクフルト」の魅力を伝えるイベントが行われた。六次産業化の推進や、食育の重要性を伝えるためのイベントとして、小倉町の児童が楽しそうに参加した。

記事と写真を編集し、A3判カラー二ページの特別号を移動編集「民報」で印刷。児童は完成したばかりの紙面を持って会場を回り、多くの人々から「おもしろい」と好評を博した。取材した記事は、民報に掲載される。新聞が読めることで、児童の食育への関心が高まることを期待している。

取材して作った新聞をもとに、児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。

児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。

児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。

児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。

児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。

児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。

児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。児童は「食育」の大切さを伝えるための特別号を作った。

食育通し福島発信 道・東北初の全国大会

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。食育通し福島発信。道・東北初の全国大会。

広報・報道(福島県)

●新聞記事等



鶴ヶ城の石垣を見るバスツアーの参加者

福島の食の魅力や食「発信する」第十一回食育の取り組みを全国に「食推進全国大会」が

酒・みそ醸造二元見学

食育全国大会会津バスツアー

くしま」のバスツアーだ。会津若松市の鶴ヶ城や郡山市のベップキッスごおりやまも視察した。田本家を見学し会津若松市の満田屋でみそ田楽を味わった。七日町松市の満田屋でみそ田楽を味わった。七日町も散策した。

酒蔵見学コースは、郡山市の仁井田本家、勢梯町の築川酒造の工場を回り、それぞれの酒造りの工夫を学ん

■福島民報新聞 平成28年6月14日号

いわきの名所楽しむ

食育大会でバスツアー



資料室を見学する参加者

第十一回食育推進全国大会inふくしまの関連イベント「ふくしまバスツアー(いわきコース)」は十二日、開かれた。県内外から約八十人が参加した。二組に分かれ、ワンダーファームやいわき・ら・ら・ミュウ、アクアマリンふくしま、久之浜・大久ふれあい館などいわきの名所を巡った。久之浜・大久ふれあい館では、東日本大震災からの復興状況に触れた。いわき語り部の

■福島民報新聞 平成28年6月15日号

広報・報道(福島県)

●新聞記事等

福 島 民 友

2016年(平成28年)7月12日(火曜日)

家族で食事楽しんで

教育・子育て

火曜掲載



家族のだんらんを持つことの重要性を強調する尾木さん

法政大教授で教育評論家の尾木直樹さんは「元氣なふくしまっ子を育てるための食生活と子育て」をテーマに基調講演した。

尾木直樹さんが基調講演

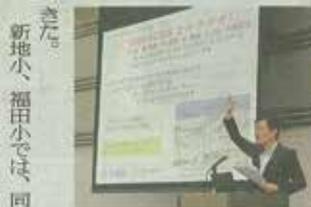
「食事を抜くと、腸を働かせるためのブドウ糖が足りず、学力に集中できなくなる」と指摘し、金銭的問題

郡山で食育推進全国大会

多彩な企画で「食」への理解を深め、食育について考えてもらおうと、6月11、12の両日、郡山市で開催された食育推進全国大会。講演会や食育スクール事業の実態報告、ステージイベントなどをリポートする。

食育指定校が取り組み報告

昨年度の文部科学省「スーパー食育スクール」指定校が実践報告した。



「スーパー食育スクール」の取り組みを報告する指定校関係者

学校での食育については「これまでは教科などで知識を得ても、生活で生かす力にながってこなかった」とし、教育関係者に給

笠原将弘さんら 和食の調理実演

給食を通して子どもたちに和食の素晴らしさを伝える「和食給食応援団」のステージイベントが開かれ、東日本代表を務める「日本料理 雙舌両論」店主の笠原将弘さんが調理実演とトークを披露した。写真。

町出身のイタリア料理のシェフを招き、地元産の野菜を使った料理を作る講座で、新鮮食材のうま味を体感。駒ヶ嶺小、尚英中では、食と放射線について学ぶ講演会も実施した。

「給食は生きた教材」金田雅代さんが講演

食時の指導の充実を呼び掛けた。

「学校での食育は栄養だけでなく「食生活全般」について指導する必要がある」と強調した。